

参加校番号/学校名【

13 高松市立香西小学校

メデイアを用いたの発信が最も印象的でした。「いじめ」と向き合い、どう解決していくか、毎年メインパクトのある活動ですごかったです。

参加校番号/学校名【13~16 / 香川県

県内で小中学校のサミットを行いいじめに対する理解を深める取り組みが斬新で良いなと思いました。また、劇を作ったり、公開記者会見をしたりして周りのいじめへの関心を誘い一緒に考える姿勢に感銘を受けました。

参加校番号/学校名【 13 / 高松市立香西小学校

いじめによる被害者、加害者、観衆・傍観者の4つの立場から「どうしたらいじめはなくなるか」という考えがとても良いと思った。また3年に1度開かれるサミットは校内の意識を高める、町に広げていくという面でとてもよいと思った。私達の地域でも取り組んでいこうと思いました。

参加校番号/学校名【A13~16/香川県

いじめ防止を伝えるために劇をして伝えるのは、いじめというものの定義を再確認になり、いいと思った。またポスターや子供記者会見などのいじめをゼロにするために考えを広めるアイデアも、大人にも聞いてもらう機会になると思った。

参加校番号／学校名【 A13 / 高松市立香西小学校 】

- ・3年に一度、子供たちだけで行う県のサミットは、自分たちの意識を変えるきっかけとして、とても良いものだと思います。
- ・いじめを許さない雰囲気づくりをすることはとても大切なことだと思います。
- ・いじめゼロ宣言や演劇で問題提起をすることで、より当事者意識を持つことができ、いじめが減ると感じました。素晴らしい取組だと思います。
- ・アンケートを活用しているのが良いと思った。
- ・コロナいじめの教材を使っただけの取組は本校にはあまりなかったので、参考になりました。

参加校番号／学校名【 13~16 / 香川県 】

- ・「ゼロ」から創り上げる「いじめゼロ子どもサミット」を行い、パレードや街頭アンケートの活動は私たちが行ってきた活動と視点が違ったので取り入れたい。
- ・「傍観者がいじめのカギを握る」と聞き、確かにその通りだと感じた。私達が行っている活動は、加害者を作らないようにしてきたが、「傍観者」にも目を向けて行きたいと感じた。
- ・いじめを未然に防ぐための手立てが工夫されていてよかったと感じた。いじめの起こりそうな場面を劇で紹介することで、身近に感じることができ、考えていくことができると感じた。

参加校番号／学校名【 A13 / 香川県高松市立香西小学校 他 】

何をされたらいじめになるのかを、アンケートで聞いた結果、本人が嫌だと思ふことはいじめであること、いじめを見てしまったら周りの大人に頼ることが大事だということがわかり、みんなが笑顔になれる、安心できる学校づくりをされていてすごいと思いました。児童生徒が中心となり、宣言を作成したりパレードしたりすることは良いアイデアだと思います。劇もやってみることで、いじめられている人の気持ちがよくわかると思うので、取り入れたいと思いました。

参加校番号／学校名【 13~16 / 香川県 】

傍観者という所に目を付けて活動を行っており、生徒児童が活動の中心となって、その役割をたくさんの人に伝えようとしているところがよかった。

いじめはダメだと発信する方法が良いと感じた。

一校だけでなく県全体でいじめを考える取り組みがあることが素晴らしかった。

参加校番号／学校名【 13～16 / 高松市立香西小学校 】

劇を通しての議論や、子ども記者会見など、自分たちから意見を発信していくことで、他人事ではなく自分にも関係があるという意識をもつことができると思うので良いと思いました。「コロナいじめ防止教材の作成」は三中でほめていないので取り入れても良いと思いました。学年ごとに教材が違うのも凄いです。

参加校番号／学校名【 A13 / 高松市立香西小学校 】

傍観者がいじめ防止の鍵を握るという考えには、とても賛成で、劇を通していじめについて話しあうのは良い案だと思った。いじめサミットなどを生徒主体となって運営している姿を見て、これからの活動に活かそうと考えた。

参加校番号／学校名【 13～16 / 高松市立香西小学校・宇多津町立宇多津小学校・高松市立古高松中学校・坂出市立坂出中学校 】

自発的にいじめについて考えや取り組みを考え、それを

自分たちの力で実行に移すことはすごいと思った。また、いじめについて考えたことを校内で終わらせるのではなく、他校と共有するこ
とによって、考えが広がると考えた。

参加校番号／学校名【 01 / 富良野市立富良野西中学校 】

ZERO運動という活動を通して、児童生徒参加型でいじめをなくそうとする取組はいいと思いました。また、異学年集団での合唱練習などで先輩後輩関係ない絆を深めることで、もしいじめがあってもたくさんの人が気付くことができると思います。